

教育概論Ⅱ(中高)－13

担当：鵜殿篤



<http://meganeculture.boon.jp/2019/09/19/gairon2/>

▼語学・心カ・教福・服美・表現 1/11 / 栄養・環教 12/24

■今回の見通し

- ・「評価」と言ったとき、大きく分けて「学習評価(学校が評価する)」と「学校評価(学校が評価される)」の2つがあることを理解しよう。
- ・「学習評価」の意義と役割を、学習指導要領に沿って理解しよう。
- ・「学校評価」が「カリキュラム・マネジメント」と密接に関わっていることを理解し、PDCA サイクルの中に位置づけよう。

▼学習評価

第3 教育課程の実施と学習評価

2 学習評価の充実

学習評価の実施に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1)生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。
- (2)創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、組織的かつ計画的な取組を推進するとともに、学年や学校段階を越えて生徒の学習の成果が円滑に接続されるように工夫すること。(24頁)

・評価とは、生徒を比較するために行うのではなく、生徒本人の成長や学習意欲向上のために行うものであり、学校や教師の指導の改善のために行うものです。

- ・学習の「結果」だけでなく、「過程」も評価します。
- ・中間テストや期末テストを行えとは、一言も書いてありません。
- ・「通知表」を作れとは、一言も書いてありません。

※妥当性：測定したい対象を適切に測定している。←テストは何を測定しているのか？

※信頼性：誰がやっても同じような結果になる。←測定方法の工夫

▼学校評価とカリキュラム・マネジメント

第1 中学校教育の基本と教育課程の役割

4 各学校においては、生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと（以下「**カリキュラム・マネジメント**」という。）に努めるものとする。(20頁)

第5 学校運営上の留意事項

1 教育課程の改善と学校評価，教育課程外の活動との連携等

ア 各学校においては，校長の方針の下に，校務分掌に基づき教職員が適切に役割を分担しつつ，相互に連携しながら，各学校の特色を生かした**カリキュラム・マネジメント**を行うよう努めるものとする。また，各学校が行う**学校評価**については，教育課程の編成，実施，改善が教育活動や学校運営の中核となることを踏まえ，**カリキュラム・マネジメント**と関連付けながら実施するよう留意するものとする。(27頁)

■今回身につける基本的知識

相対的評価と絶対的評価

・評価の種類は、大きく分けて2つあります：相対的評価／絶対的評価(到達度評価)。

・それぞれの評価のメリットとデメリット

相対的評価＝統計学的な根拠に基づき客観的な評価が期待できますが、教育活動の成果が反映しているかどうかのチェック指標として疑問が残ります。←信頼性は高いが、妥当性は低い。

絶対的評価＝教育活動の成果が反映しているかどうかの指標として期待できますが、教師の主観性に左右されやすいのが難点です。←妥当性は高いが、信頼性は引く。

診断的評価、形成的評価、総括的評価

・評価のタイミングは、主に3つあります：診断的評価／形成的評価／総括的評価。

・形成的評価の重要性：コンピテンシーやソフトスキルの発達をどのように評価するか？

→ポートフォリオ等の活用。指導と一体化した評価。

指導要録、内申書、通知表

※指導要録：学校教育法施行規則第24条と第28条に規定されています。学籍に関する記録(保存期間20年)と、指導に関する記録(保存期間5年)の2種類があります。

※内申書(調査書)：「学年や学校段階を越えて生徒の学習の成果が円滑に接続される」ために、伝達事項を記録したなんらかの媒体が必要になります。

※通知表：学校が把握している情報を、生徒本人や家族に伝達するツールです。法的根拠がないので、作る義務はありません。作っていない学校もあります。

■今回の週刊教育課程

(1)あなたの学校では、学生の評価に関して、どのような点に気をつけていますか？

(2)あなたの学校は、学校目標が達成されているかどうかを、どのように証明しますか？

(3)PDCA サイクルを回すために、特に改善(Action)を実行するために、学校組織や校務分掌をどのように構成しますか？ (任意)

■予習と復習

・「評価」について、自分の言葉で説明できるようにしておこう。